



医療情報の調べ方 part1 病気について調べる

2008.3 山梨県立図書館



病気について調べる



1. 辞典で調べる

Step1 「家庭医学」の事典で調べる

一般向けに書かれていてわかりやすく、難しい言葉には、ふりがながふってあります。

▶ 頭痛、腹痛、めまい、しびれ、発疹などの症状から疑われる病気を調べる

『家庭医学大全科』（法研 2004）

症状と病名から引ける4,000項目を超える索引から、2,500を超える病気について調べることができ、図表も多用され、理解しやすく解説されています。

『病気がわかる事典』（成美堂出版 2007）

子どもからお年寄りまで、約1,400の病気について、病気の知識や治療法についてやさしく解説しています。

▶ 子どもの病気を調べる

『子ども医学館』（小学館 2001）

子どもに特有の約500の病気の原因、治療法、約100のけがの応急手当について、詳しく書かれています。また、症状から病気を見分けたりすることもできる、便利でわかりやすい一冊です。

▶ 予防から治療まで詳しく調べる

『メイヨー・クリニック健康医学大事典』（法研 2006）

全米屈指の医療機関が編集した医学書。健康に生活するための予防的ケアから最先端の医療までを患者の立場になってまとめた医学事典です。

『メルクマニュアル医学百科』最新家庭版（日経BP社 2004）

17カ国語に翻訳され、医師に最も信頼されている『メルクマニュアル』を分かり

やすく家庭向けにまとめた医学書です。それぞれの病気の解説やどんな人がその病気になりやすく、どんな症状が出るのか、さらに診断、治療、予防なども詳しく説明しています。web版もあります。<http://mmh.banyu.co.jp/mmhe2j/index.html>



この他にもこんな事典があります

- 『家庭の医学』新版（主婦の友社 2004）
- 『最新家庭の医学百科』（主婦と生活社 2003）
- 『大安心健康の医学大事典』（講談社 2001）
- 『最新家庭医学大百科』（主婦の友社 2000）

Step2 医学専門の事典を調べる



▶ 医師向け医学書を調べる

『南山堂医学大辞典』第19版（南山堂 2006）

基礎医学から臨床医学までにわたる用語を収録しています。見出し語約40,000語、外国語索引約110,000語、図表約900点を収録した総合医学事典です。

『ステッドマン医学大辞典』改訂第5版（メジカルビュー社 2002）

原著のStedman's Medical Dictionaryは100カ国で利用されています。最新医学用語が105,000語収録され、和英索引も90,000語に及びます。最先端医学やその周辺科学分野が充実しています。

『医科学大事典』全50巻・索引（講談社 1982）

医学を中心とした関連分野から、事項、人名などを見出し項目としたヨミの五十音順事典。項目に対応する英語、ドイツ語、フランス語、ラテン語の記載があります。カラー写真や図版を多用しています。

『メルクマニュアル』第18版（日経BP社 2006）

総合的な診断・治療マニュアルとして主要な疾病を網羅、症状から診断、治療法までを詳細に解説した総合医学書。第17版のweb版もあります。

<http://merckmanual.banyu.co.jp/>

2. さらに詳しく調べる

Step1 どんな図書が出版されているのか調べてみましょう

『医療問題の本全情報』1996-2003（日外アソシエーツ 2004）

1996年7月から2003年6月までに刊行された商業出版物、政府刊行物、私家版など約10,000冊を収録。「医療と行政」「医薬品」「医療施設・医療者」「医療と社会・福祉」「医療と倫理」「病気・難病」「東洋医学」「医療と健康」の8分野にわかれています。巻末には事項名索引があります。

『健康・食事の本全情報』1993-2004（日外アソシエーツ 2004）

健康と食事に関する図書10,207点をテーマ別に収録。「健康」「医学・医療」「健康管理」「健康法」「食事と健康」「健康食」「栄養」「薬」「病気の知識」「治療法」「病気別治療法」の11分野にわかれています。巻末には事項名索引があります。

実際に医療コーナーの書架に行って資料を調べるか、どんな図書が出版されているのかを調べて、それぞれの疾患（病名）ごとの図書を調査し、さらに詳しい情報を入手しましょう。

Step2 治療方法について調べる

『標準治療』2006最新版（日本医療企画 2006）

誰もがかかる可能性の高い約570の病気の症状、診断方法、標準的な治療方法、予後、生活上の注意などを診療科目別に掲載しています。

『EBM正しい治療がわかる本』（福井次矢著 法研 2003）

EBMとは「科学的根拠に基づく医療」という考えで、現在行われている治療がどんなデータに基づき、どれだけ信頼性があるのかを評価していくものです。本書では治療やケアについての信頼性を の数で示しています。

『標準・傷病名事典』（寺島裕夫編著 医学通信社 2005）

国際疾病分類（ICD-10）に基づき、日常的に診断される傷病約2,700の症状、診断、治療について、実際の診察に役立つように記述されています。

さらに詳しく知りたいときには、疾病ごとに出版されている最新治療の図書を調べてみましょう。

（例）『ぜんそくの最新治療がわかる本』（灰田美知子著 主婦の友社 2004）

『関節リウマチの最新治療』（成美堂出版 2004）

『骨粗しょう症の最新治療』（細井孝之著 講談社 2003）

『防ぐ、治す食道ガンの最新治療』（講談社 2005）

『抗ガン剤治療のすべてがわかる本』（学研 2006）

『全がん治療ガイド』（イースト・プレス 2005）

『新しいアトピー治療』（西岡清著 講談社 2006）

この他にも、いろいろな図書を所蔵しています。

インターネット情報源

「がん情報サービス」(国立がんセンター がん対策情報センター)

<http://ganjoho.ncc.go.jp/public/index.html>

各種ガンについての、基本情報、症状、診断、治療、経過などについて詳しく解説しています。

「がんナビ」(日経BP社) <http://cancernavi.nikkeibp.co.jp/>

「日経メディカル」による、がん情報を提供するサイトです。がん関連ニュースや、がん患者と家族のためのQ & A集などがあります。

「難病情報センター」(難病医学研究財団) <http://www.nanbyou.or.jp/>

難病(特定疾患)についてキーワードで検索可能。五十音順、疾患群別の索引があります。

「循環器病情報サービス」(国立循環器病センター)

<http://www.ncvc.go.jp/cvdinfo/cvdinfo.htm>

循環器病の原因や治療方法、予防、日常生活の注意など、さまざまな情報を提供しています。

「脳卒中の治療最前線」(東京都済生会中央病院脳血管内治療科 植田敏浩氏)

<http://www.ne.jp/asahi/ueda/stroke/>

患者およびその家族に向けた脳卒中の最新情報を提供しています。アメリカで脳卒中の治療に携わった脳神経外科医による制作。

「糖尿病ネットワーク」(株式会社創新社) <http://www.dm-net.co.jp/>

糖尿病患者と医療スタッフのための情報サイト。糖尿病の基礎知識、食事療法・運動療法、合併症の予防や血糖自己測定などについての情報、生活情報まで提供。医療関係者には最新の医療ニュース、学会やセミナーなどの開催案内などを提供しています。

「リウマチ情報センター」(日本リウマチ財団)

<http://www.rheuma-net.or.jp/rheuma/index.html>

対象とする病気の概念、疫学、病因、症状、診断、検査、治療、生活の注意までを詳しく解説しています。また、相談機関や関連する図書、専門医、専門医療機関などの紹介もあります。

「高血圧ホームページへようこそ」(日本循環器病研究振興財団)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/seikatu/kouketuatu/index.html>

高血圧についての基本的な情報を得ることができます。

困ったときには、こんなサイトもあります。

「**子どもの救急**」(日本小児科学会) <http://kodomo-qq.jp/>

生後1ヶ月から6歳までの子どもを対象にした救急のページです。気になる症状が出たとき、病院を受診するかどうかの判断材料になります。

「**すこやか子育て健康百科**」(万有製薬)

<http://www.banyu.co.jp/sukoyaka/index.html>

症状別の事故やけがの対処法、気になる症状の対処法や救急車の呼び方、人工呼吸・心臓マッサージ、幼児期、学童期に多い病気について解説があります。



患者会について調べる



『**全国患者会障害者団体要覧**』第3版(プリメド社 2006)

全国の種々の病気や障害の当事者の会、家族の会、および当事者も参加している支援団体1,442団体を掲載しています。会の目的・活動、対象、活動地域、会員、相談窓口などを紹介しています。

『**全国「患者会」ガイド**』(学研 2004)

「患者会」約1,500団体と、インターネット上で同じように集える場を運営している「ネットコミュニティ」170サイトを紹介しています。患者図書室一覧やセカンドオピニオン、医療事故の相談窓口も掲載しています。

インターネット情報源

「**患者会と障害者団体のリンク集**」(株式会社プリメド社)

<http://www.primed.co.jp/selfhelp/>

『全国患者会障害者団体要覧』に掲載された団体でホームページを開設し、リンクを承諾した団体を、キーワードにしたがって分類、紹介しています。

「**楽患ねっと**」(NPO法人楽患ねっと) <http://www.rakkan.net/>

患者会、患者団体のホームページをキーワード、都道府県別、50音別に検索ができます。また、闘病記を探すこともできます。

「**製薬協 患者会リンク集**」(日本製薬工業協会)

http://www.jpma.or.jp/patients/link_pa/index.html

がん、呼吸器、心臓・血管、消化器、内分泌・代謝などの疾患別に患者会を紹介しています。各患者会の簡単な紹介、所在地情報、ホームページのアドレスが載っています。

「いいなステーション」(いいなステーション) <http://www.e7station.com/>

『がん！患者会と相談窓口全ガイド』（三省堂 2007）と『患者会ガイド』2004（学研 2004）を元に、約600の患者会と患者コミュニティサイトを探すことができます。

↓ さらに広く調べたい方は、こちらをご覧ください ↓

医療情報の調べ方 part 2 「病院・医師について調べる」

医療情報の調べ方 part 3 「薬について調べる」